



建築・デザイン学科

Department of Architecture and Design

「モノづくり」をキーワードに
多角的な視野を持った建築家・デザイナーを育成



17 教授 金子 哲大



スペースデザイン・プラクティス ～空間デザインを体験しよう！～

空間デザインは子どもの頃の「リカちゃんハウス」「秘密基地」の延長線上にあります。本講義は、ダンボールなどの身近な素材で自分達のイメージした空間の模型をつくる、大学で実際に行われている演習授業のダイジェスト版です。グループに分かれて、考える（コンセプト）→つくる（デザイン）→発表する（プレゼンテーション）の一連の流れを体験します。



18 教授 依田 浩敏



環境に配慮した「たてものづくり・ まちづくり」を考える

近年における都市化の進展と、それに伴うエネルギー消費の拡大は、都市生活を快適にする反面、環境には様々な負荷を与えています。「環境と人にやさしい」たてものづくり、まちづくりを進めていくうえで、環境に対する現状の問題点を改善するための建築都市設計手法について、具体的な事例をあげながら説明します。



19 教授 小野 聰子



地震のときに住宅はどのように ゆれるの？

現在、世界中のあらゆるところで地震が発生していますが、その際に多くの住宅が損傷あるいは倒壊しています。それらを未然に防ぐためには、日々から住宅に興味を持つことが重要です。この出前講義では、各自で簡単な住宅の模型（モデル）を作成したのち、その模型を揺らすことにより、地震時の住宅のゆれを体験してもらいます。



20 教授 鶴野 幸子



不思議な視覚の世界を体験しよう

人間の脳は、必ずしも実際の物、形、色を正しく認識しているとは限りません。手品のようにタネがあるわけでもないのに、下り坂をボールが上っていったり、曲面を平面と勘違いしたり、白黒写真がカラーに見えたりします。本講義では、その摩訶不思議な世界を楽しみながら体験してもらうために、さまざまな作品を紹介し、その仕組みについて説明します。



21 教授 小池 博



「街並み」を科学する

私たちにとって親しみの深い「街並み」について科学していきます。前半は世界や日本の特徴的な街並みをスライドで紹介します。後半は、建物のカタチ、色、材料、高さ、壁の凹凸、窓、階段のリズムなど、街並みを科学的に分析する手法を紹介し、「街並み」の新たな魅力発見・魅力づくりの方法を考えます。



22 准教授 益田 信也



“子ども部屋”要る？要らない？

何気なく毎日を過ごしている場所「子ども部屋」。子ども部屋は、寝室？それとも勉強部屋？遊び部屋？いつ頃からあるの？なぜ？そして、そのときの様子は？外国では？これからどうなる？など、子ども部屋の歴史や実際の使われ方を題材に、わが国の近代住居の空間構成について、住文化の視点から考えます。





建築・デザイン学科

Department of Architecture and Design



「モノづくり」をキーワードに
多角的な視野を持った建築家・デザイナーを育成



23 准教授 堀 英祐



災害に強いレジリエントな建築について考える

近年増加傾向にある大規模自然災害への対策として、レジリエントな（復元力・回復力のある）建築が注目されています。災害から身を守り、停電や断水になんてても安全に、安心して過ごせるようになるために知っておきたい社会の仕組みや建築の機能について最新の事例紹介を交えながら、建築環境・設備の視点から考えます。



24 准教授 森岡 陽介



リノベーションのデザイン ～空間再生と使いこなしの考え方～

人口減少によって賃貸住宅の空室が増加の一途をたどっており、その利活用方法の一つとしてリノベーションがあります。見た目を綺麗にするだけで空室が解消されるのではなく、作り方や使われ方などを総合的に構想することで新しい空間デザインが生まれます。事例紹介を通してその考え方を説明した後、実際に考え、デザインをプレゼンテーションします。



25 講師 渕上 貴代



建築家の仕事とは？

建築家と一言に言っても、多様な個性があることは想像に難くありません。一流の建築家たちは、どのようなことを学び、建築家になったのでしょうか？建築家になるためには「センス」だけでなく、多様な知識や体験の方が役に立ちます。さまざまな建築家を取り上げながら、建築家の仕事について考えてみたいと思います。

